

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	かわさき新産業創造センター (KBIC)	評価対象年度	平成20年度
事業者名	・事業者名 財団法人 川崎市産業振興財団 ・代表者名 理事長 君嶋 武胤 ・住所 川崎市幸区堀川町66-20	評価者	新産業創出担当主幹
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日	所管課	経済労働局産業振興部新産業創出担当

2. 事業実績

利用実績	施設内の入居可能な事務室は、全部で38室、広さは2,117㎡であるが、平成21年3月時点で37室、2,104㎡の99.4%の入居率となっている。この1年間に退出企業に対する新規入居募集を4回行い、全10室の入居が行われたことは、指定管理者としての施設利用促進の努力が数字として見て取れる結果である。
収支実績	収入としては、利用料金収入(83,246千円)、指定管理料(4,037千円)使用料・手数料(15,891千円)など、主な費目で予算を上回る実績を上げ、総額で予算対比15,432千円増となっている。支出では、予算対比1,527千円増で、収支13,905千円の黒字となっている。高い利用率がこの結果をもたらしていると言え、今後もKBICの強みである、企業支援の能力を活用し、入居率の維持を図るとともに、入居企業経営安定化により、賃料の収入を安定させることが大事である。
サービス向上の取組	入居企業に対するヒアリングや、日常の情報交換により、問題点が把握できるため、インキュベーションマネージャーを中心としたスタッフの適正なアドバイスを与えることができています。また各種セミナーや技術講習会の開催、経営支援メニューの紹介、展示会・見本市への参加勧誘など、企業経営の安定に資する事業を数多く実施していることは評価が高い。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	4	8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	10	4	8
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 事業報告書にあるとおり、年間346件のヒアリングを行い、入居企業に対する意見聴取を積極的に行っている。入居者の満足度が高く、新たな取組は目だたてられていないが、従来からの充実した支援メニューを着実に実施するとともに、日々の施設管理を確実に行うことで、利用者からの不満はほとんど無い。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	7	5	7
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	7	5	7
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	3	3.6
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) 経費の支出状況を見比べると、管理的な経費に比べ、事業関係経費が予算を上回る支出となっていることは、積極的な事業展開が行われていることを証明している。収入については入居企業の募集などを効果的に行い、予想を大きく上回る実績を残している。また、金銭の取扱いも現場確認により適切に行われている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	5	10
利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか					
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
(評価の理由) 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) ものづくり基盤技術高度化促進のための研修業務や各種セミナーなど、ほぼ計画通りに実施し、経営支援事例も報告書にあるとおり、12社に及んでいる。入居企業ヒアリングは前年を上回る回数をこなし、ニーズ把握に努めているなど、インキュベーション施設としての役割を十分果たされている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか			
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	3	4	2.4
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	3	4	2.4
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか	3	4	2.4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	3	4	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	3	4	2.4
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	3	4	2.4
(評価の理由) 30を超える入居企業があり、施設管理にも一律な実施では維持できない面があるが、職員のOJTや資格取得、再委託先との綿密な調整により、管理業務が組織一体となり問題なく行われている。加えて、管理上のマニュアルも含めた指示文書も整備されている。環境対策としては、エコオフィスの調査で、省エネルギーに努めていることが確認されたほか、消耗品費の支出抑制の数字は無駄を省こうとする管理者の努力の跡が見られる。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか			
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	15	4	12
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 施設・設備の保守管理は、再委託事業者との連絡・連携により万全に執り行われている。施設内も非常に清潔で、外溝の通路や植栽などごみもなく、きれいに管理されている。設備、備品についても、研修に必要な機器を購入するなど更新に努め、利用者満足度向上にもつながっている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	81.6	評価ランク	B
-------	------	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

かわさき新産業創造センター(KBIC)は、個人の創業、企業の新たな事業分野への進出、企業を支える基盤技術の高度化を促進するために設置された施設であり、当該設置目的を果たすために様々な事業を行うとともに、新事業事務室を利用に供している。これらセンターの設置目的を達成するための事業として、入居企業に対する支援を行っているが、入居企業に対するヒアリングに基づいた高いレベルでの支援が行われていることは、高く評価することができ、市内企業のものづくり基盤技術の高度化の促進に対する支援についても、充実した研修項目をそろえるなど、おおむね評価することができる。また、新事業事務室の利用については、引き続き高い利用率を維持し、利用料金収入が当初予算額を大幅に上回っていることは、指定管理者の経営努力の成果として評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

入居企業に対する支援については、現状の高いレベルを維持し、入居企業の更なる経営安定、技術力向上を図ることを望む。また、ものづくり基盤技術高度化に資する研修等については、広報を更に行なうことにより、受講者の増加を図り、市内ものづくり企業のニーズに対応した講座を充実させることを望む。更に新年度からは青少年に対するものづくりへの啓発事業が新たに加わるので、メニューについては魅力ある構成を期待したい。施設の管理運営については、昨年度と同様、安全、効率的に行うとともに、創造のより周辺の整備に関連した、KBICの施設改修事業も発生するので、工事に絡む安全管理に注意を払っていただきたい。